**第137回通常宗議会速報**

**令和２年度　曹洞宗一般会計歳入歳出決算**

**歳入決算額 　　　52億4980万4857円**

**歳出決算額 　　　45億4229万4690円**

　（内訳）

　経常部歳出決算額 39億4590万6905円

　臨時部歳出決算額 5億9638万7785円

**歳入歳出決算差引残額 7億0751万0167円**

 　　　　（令和３年度準備資金に編入）

**議会概要**

令和３年11月22日より26日までの会期５日間にわたり、第137回通常宗議会が招集され、令和２年度一般会計歳入歳出決算、令和３年度一般会計歳入歳出補正予算案（第1回）・令和３年度曹洞宗護持会特別会計歳入歳出補正予算案（第1回）、令和３年度曹洞宗不動産（建物）償却引当積立金及び不動産取得運用基金特別会計歳入歳出補正予算案 （第１回）、曹洞宗規程中一部変更案の議案が４本、承認を求める件など16件が上程され審議が行われました。

今次宗議会でも、防疫対応措置として消毒の徹底や議決・承認に関わるもの以外は議場での密集を避けて控室や客室での映像視聴による対応もとられ、定足数72名にて開会。鬼生田宗務総長の演説では、コロナ禍における宗門の現況。宗制調査室に関わる説明。檀信徒会館の決算時における会計処理について、一般会計の檀信徒会館特別会計に対する出資金のうち４億7800 万円分を消却し、檀信徒会館特別会計の元入金のうち４億7800万円分を減資した旨の報告がなされた。

招集初日は宗議会成立に関する集会、管長就任式、開会式、常任委員選挙、宗務総長演説、所管部長の議案説明、宗務監査報告、各議案が上程され散会。散会後に上程議案に関する議案研究が行われました。第２日目に有道会・總和会を代表しての「総括質問」が行われ、２日目より上程された案件はそれぞれ常任委員会並びに特別委員会に付託され、すべての議案が審議に入りました。また「通告による一般質問」が２本、「文書質問」16本が提出されました。

今次決算議会は会期が短縮され、付託された上程案の検討審議も滞りなく進行。11月25日、それぞれの常任委員会・特別委員会の委員長からの報告を受けて本会議場で可決、会期を１日残し第137回通常宗議会は閉会しました。

**宗制の主な変更**

**〇曹洞宗人権擁護推進本部運営規程中一部変更（総務部）**

全体構成を分りやすくするために章を設ける。事務分掌規定との整合性を図る変更。宗務所規程に定められている部分の条を削除。宗務所規程中の人権擁護推進委員会関係条項をすべてこの規程に移し、合わせて研修会や学習会などの取組み事項を明示。人権啓発相談員を、人権教育・人権啓発に係る有識者であることから曹洞宗人権教育啓発相談員と改める。（令和５年４月１日から施行）

**一般会計 歳出臨時部 決算額 5億9638万7785円（内訳）**

１款‐管長就任式費　　 　　　　　　　　　 0円

２款‐大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禅師７００回大遠忌香資　　60,000,000円

３款‐SDGｓ推進事業費　　 　　　　　　　　　 3,201,431円

４款‐SDGｓシンポジウム並びにTokyo禅アリーナ開催補助費 0円

５款‐曹洞宗宗務庁版『正法眼蔵』作製費 1,895,289円

６款‐過疎地寺院振興対策室費　　 282,892円

７款‐曹洞宗宗制調査室費 2,796,173円

８款‐禅の実践プログラム費 5,212,000円

９款‐世田谷学園特別振興補助費 15,000,000円

１０款‐新型コロナウイルス感染症対策積立金　　　　　　　 　　508,000,000円

**※詳しくは曹洞宗報別冊・会報をご参照ください。**